

桑名 妖怪録

「化け狸」 城山町

愛宕さんから走井山へかけて
狸が多く住んでいて
人を化かしたと言ふ

「土仏山の犬天狗」 北別所

土仏山の三本松に
犬天狗が住んでいる
犬天狗が出陣する時は
一陣の突風が吹くと言ふ

「黄金のニワトリ」 西方

西方の御殿山は
昔、お寺があった所で
黄金のニワトリが埋められており
今も元旦に鳴き声が
聞こえると言ふ

「水呑み竜」 城山町

走井山観音堂の天井絵の竜が
夜になると抜け出して
町屋川の水を飲みに行ったので
目に大釘を打つと抜け出さなくな
ったと言ふ

「かわうそ」 水郷・木場

行燈の火を消すなど
かわいい いたずらをする
月の美しい夜は
鉢たたきをして踊ると言ふ

「どっち亀」 揖斐川

「どっちが しんのこ抜きに来る」
どっち亀（スッポン）は津島の
水天宮様のお使いであり
津島祭に人のしんのこ（尻子玉）を
献上するために抜くので
祭が近づくと子供達は揖斐川で
遊ばない

「海魔と海幽霊」 亀崎の沖

伊勢湾北部の漁村では
旧暦十月三日・四日には漁をしない
亡霊が現れて柄杓で海水を
汲み入れて船を沈めてしまうのだ
また、深夜に亀崎の沖を通ると
「おーい、おーい」と呼ぶ声がかして
海中より大きな丸くて青白い光が
空中に浮かび上がり
見た者は怖ろしさに気を失うと言ふ

